

注目アスリート

今年開催される、かごしま国体・かごしま大会で、活躍が期待される選手をご紹介します。



全国障害者スポーツ大会
車いすバスケットボール(身体)



車いすバスケットボールチーム
薩摩ぼっけもん
うえ おお た
上大田 龍真 選手

トップアスリートの体験教室で 競技の魅力を発見

車いすバスケットボールを始めたきっかけは、高校2年の時に参加した体験教室でした。講師はリオパラリンピックで主将を務めた藤本怜央さんで、それまでできないと思っていたバスケットボールが、ルールは少し違えど同じゴール、同じボール、5人のチームメイトでプレーできることを教わり、競技に魅了されました。障害の程度が異なる仲間とプレーするので、パスひとつにしても相手に合わせた動きが求められます。ここが難しい部分ではありますが、上手くいったときはとても嬉しいです。

かごしま大会に向けて

大学生から本格的に始めたのでまだまだ未熟ですが、練習を重ね、かごしま大会では若い力を存分に発揮してチームに貢献したいです！



国民体育大会
馬術



鹿児島中央高校

上村 司 選手

R元年度 国民体育大会
少年スピードアンドハンディ
ネス競技1位

人と馬がひとつになって 成し遂げる競技

両親が乗馬クラブを運営していたため、物心着いた時から馬が身近にいた生活で、気づいたときには馬に乗っていました。馬術は人馬一体になることが大切な競技。信頼関係を築くことで初めて馬を操れるようになり、正確で美しい演技ができます。時間をかけて馬と向き合い、共に成長していくところが、この競技ならではの魅力だと思っています。

経験を生かして県に貢献

小学4年生から本格的に馬術を始め、現在の馬歴は8年。小さい頃から全日本級の大会に連れて行ってもらい、トップクラスの選手の走行を見てきました。その経験を生かし、これまでに3回全国大会で優勝することができました。かごしま国体でも県に貢献できるよう、1点でも多く点数を獲得したいです。



国民体育大会
ハンドボール



ヴァリアス
Various鹿児島

米満 旭 選手

R元年度 ジャパンオープンハンド
ボールトーナメント大会3位

中学からハンドボールに夢中

中学生の時、友人から誘われたことがきっかけでハンドボールを始めました。続けるにつれてシュートを決める喜びやフェイントで相手を抜く楽しさに夢中になりました。高校では全国大会で格上のチームに勝利し、大学はレベルの高い関東の大学に進学。4年生でレギュラーを勝ち取り、全日本学生選手権で優勝することができました。初めての全国1位は、今までのハンドボール人生で最高の喜びでした。

かごしま国体に向けて

現在は、国体に向けて強化チーム(Various鹿児島)を作りキャプテンを務めています。チームも徐々に力をつけてきたので、かごしま国体では今までお世話になった方々、応援して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、鹿児島のために精一杯がんばります。

問い合わせ先

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局 Tel.099-286-2874

かごしま国体・大会

検索